



笑顔あふれる学校に！全員登校45日超え！

～さあ！38日間の夏休みの始まり！～

始業式から数えて授業日 68 日の 1 学期が終わろうとしています。9 名の 6 年生が全校をリードして「笑顔あふれる学校づくり」に取り組んできました。峰山学園で統一された学校教育目標の達成、目指す子ども像の実現を強く意識して、笑顔あふれる学校づくり「ながおか大作戦」を進めました。

【学校教育目標】

『自己肯定感を持ち、
自分の将来を展望し、共に学ぶ子の育成』

【目指す子ども像】

- 意欲を持って自ら学ぶ子ども（知）
- 思いやりのある子ども（徳）
- 進んで心と体を鍛える子ども（体）

【今年度学校テーマ】

笑顔あふれる学校づくり「ながおか大作戦」

- な** 何ごとも最後までやりぬこう。（できる笑顔）
- が** がまん強くつながろう。（つながる笑顔）
- お** 思いを伝え合おう。（わかり合う笑顔）
- か** 考えをもち行動しよう。（行動できる笑顔）

児童 61 名一人一人のたくさんの笑顔にあふれた 1 学期でしたが、時には、「友だちに嫌な言葉を言われた。」「石を投げられた。」等、悲しいこともありました。また、落書きをしたり土砂止めのブロックを溝に落としたり等、気になる行動もありました。その都度、自分の言動を振り返り反省し、次につながる約束をすることで一歩ずつ成長してきました。

学習面でも、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、「わかる・できる授業づくり」に取り組んできました。3 年生以上では電子黒板の活用も進み、視覚的にとらえやすい工夫もできました。

明日から 38 日間の夏休みが始まります。本日の終業式では、「半日村」（斎藤隆介・作）の読み聞かせから、「自分で考えてやり始めることの大切さ」「継続は力なり」というお話をしました。学校を離れても学びは多いと思います。7 月 17 日（火）に、京都工芸繊維大学の齊藤准教授の理科わくわく体験教室「虫たちの世界をのぞいてみよう」を 3 年生が受けました。齊藤先生の「地球は虫たちの惑星」という言葉が印象的でしたが、それにも増して、子どもたちが「虫とり」をあまり体験していないことが印象的でした。自然に恵まれた本校児童が、自然の中で体験活動から多くのことを学ぶ夏休みであってほしいと願っています。夏休みの楽しみはと尋ねたときに、「いとこと遊ぶこと」「海に連れて行ってもらうこと」という児童もいますが、「動画を見たりゲームを楽しんだりすること」と即答する児童もいました。まだまだ判断力も弱い子どもたち、子どもたちの未来のために周りの大人の方々が良きアドバイスをいただければ幸いです。

1 学期、PTA はもとより長岡っ子安全ボランティアの会、緑の少年団、長寿会、学校支援ボランティア等、地域・保護者の皆様の温かいご理解とご支援をいただきました。教職員一同、心よりお礼申し上げます。今後とも、皆様に引き続き支援していただきながら、目標の達成を目指して「チーム長岡小」として協働して参ります。どうかよろしくお願いたします。

始業式に元気な笑顔が揃い「忘れ物 0」でスタートできますように！



緑の少年団会長嶋田様をはじめ、役員の皆様のご理解とご協力をいただき、4 年生がエコ活動の一つとして、「緑のカーテン」（ゴーヤの栽培）に取り組んでいます。もうすぐ、2 階に到達しそうです。

京丹後市立長岡小学校
校長 山形元子